

第2分科会 テーマ：環境整備事業等における工夫事例

No.	題名	地方ブロック	水系名 河川名	直轄/補助 (級別)	河川概要				発表者	所属部署		事業の概要	主な関係者
					河川の流域面積	河川分類	整備計画流量※1	セグメント※1		機 関	部・事務所		
1	尻別川におけるカワヤツメの生息環境創出モニタリング調査結果について	北海道	尻別川水系 尻別川	直轄(1級)	1640	大河川	2,000m3/s (W=1/40)	1	はやしながりゆうせい 林中 流星	北海道開発局	倶知安開発事務所	・環境省レッドリストの絶滅危惧II類に区分されているカワヤツメを対象とした生息環境創出の試験施行箇所のモニタリング調査結果を報告。	(調査設計関係者) 公益社団法人北海道栽培漁業振興公社
2	雄物川上流域における湧水生態系の保全を目指した環境整備事業の取組事例	東北	雄物川水系 雄物川	直轄(1級)	4710	大河川	7100m3/s (W=1/30)	2-1	ふじわらなおき 藤原 直樹	東北地方整備局	湯沢河川国道事務所	・雄物川上流域におけるワンド、たまりの保全、再生事例を紹介	(調査設計関係者) パシフィックコンサルタンツ株式会社東北支社
3	堅磐河道掘削事業実施後のモニタリング結果	関東	久慈川水系 久慈川	直轄(1級)	1490	大河川	3,400m3/s (W=1/100)	2-2	ちぎら ゆうき 千明 佑輝	関東地方整備局	常陸河川国道事務所	・堅磐河道掘削事業は、久慈川下流部の流下能力向上と、サギ類コロニー、アユの産卵床の保全など、治水と環境保全の両立を目指し、約10年の歳月をかけ令和元年に施工が完了した。 ・事業完了後のサギ類コロニーやアユ産卵床、新たに創出されたワンド、干潟等のモニタリング結果 (R2~R4) について紹介する。	(堅磐事業検討委員会委員) 日本野鳥の会茨城県 池野進 技術顧問 (堅磐事業検討委員会委員) 茨城生物の会 小菅次男 顧問 (堅磐事業検討委員会委員) 筑波大学大学院システム情報系 武若聡 教授 (堅磐事業検討委員会委員) 筑波大学生命環境系 徳永幸彦 准教授 (堅磐事業検討委員会委員) 茨城県水産試験場内水面支場支場長
4	神通川自然再生の取り組みについて	北陸	神通川水系 神通川	直轄(1級)	2720	大河川	6700m3/s (W=1/30)	1	やまざきこえ 山崎 澁二	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	神通川では平成18年度よりサクラマスを指標種とし様々な魚類の生息環境の創出・保全を目的とした自然再生事業を推進しており、令和3年度から第II期事業の整備に着手した。整備箇所においては整備前・整備後のモニタリングを行い、効果を確かしている。第II期事業では、第I期事業での課題や新しい技術を踏まえ、モニタリング方法を改善した。	(調査設計関係者) 株式会社建設環境研究所 (調査設計関係者) 日本工営株式会社 (調査設計関係者) 株式会社建設技術研究所 (工事関係) 藤川建設株式会社 (工事関係) 株式会社林土木
5	豊川流域におけるネコギギ保全のための環境改善の取り組み	中部	豊川水系	直轄(1級)	724	大河川	4,650m3/s (W=1/30)	M	まえじまなおや 前島 直哉	中部地方整備局	設楽ダム工事事務所	・豊川流域に生息する天然記念物のネコギギについて、その個体群が存続可能となるような環境改善手法を検討し実施しているものである。	(調査設計関係者) 一般財団法人水源地環境センター (調査設計関係者) 株式会社建設環境研究所 (調査設計関係者) いであ株式会社 名古屋支店 (工事関係者) 有限会社芦沢建設
6	小田川合流点付け替え事業における周辺環境の保全について	中国	高梁川水系小田川	直轄(1級)	2670	大河川	1700m3/s (W=1/2553)	2-2	ふくい あやな 福井 文菜	中国地方整備局	高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所	・小田川合流点付け替え事業に伴う、環境影響評価書の中で保全措置の対象となったアサザの移植の取組について	(共同研究者) 岡山理科大学波田善夫名誉教授 (調査設計) 株式会社荒谷建設コンサルタント 岡山支店 (調査設計) 株式会社ウエスコ 岡山本社 (調査設計) 中電技術コンサルタント株式会社 岡山支店 (調査設計) 株式会社エイト日本技術開発 岡山支店
7	八重川津屋原沼周辺の堤防整備と環境保全について	九州	大淀川水系 八重川	直轄(1級)	25.4km2	中小河川	250m3/s (W=1/50)	2-2	くろぎ たかし 黒木 隆	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	・コアマモ群落との環境の連続性を実現したことでアカメ等が住みやすい環境を保全できた ・多くの住民が参加して計画を作り、住民の意見が反映された利用しやすい施設となった	(共同研究者) 宮崎大学杉尾哲名誉教授 (地域の関係団体) NPO法人大淀川流域ネットワーク (地域の関係団体) 宮崎内水面漁業協同組合 (調査設計関係者) パシフィックコンサルタンツ(株)